

## 特集 "PROJECT 2012"

ニュースレターをご愛読いただいている皆様、あけましておめでとうございます。

1月のニュースレターは、『PROJECT 2012』と題しまして、加藤一成建築設計事務所が設計が進んでいるプロジェクトの中から、現時点で工事が進行中、又はある程度計画の内容が決定しつつあるものを、いくつかご紹介させていただきます。

## 横手の家



横手市郊外に建築中の住宅です。1階にはLDと一体に和室を設け、家事も効率的なレイアウトとしています。吹き抜け上のワークショップは1階と一体とし家族のための空間となります。燃料電池システムや太陽光発電も備える省エネ住宅です。3月竣工予定。

## Salon-S



岩手県一関市に建築中の美容・理容の総合サロンです。それぞれのエリアと敷地の位置・形状を考慮に入れ、L型のプランを提案しました。ロープライス系サロンですがチェーン店のフラッグシップサロンであり、作業性と共にデザイン性も重要視しています。3月オープン予定。

## W-House



秋田市中心部にほど近い敷地に計画中の住宅です。敷地の広さを活かし、南方向の川や川越しの景観を取り入れ、平屋ならではの伸びやかなプランニングとしています。パブリック部門は効率的な家事ができる水回りと隣接し、個室部分は住宅の東側に取りまわっています。

## K-Office



岩手県北上市の市街地に建築中の平屋の小オフィスです。接客スペース・ミーティングルーム・事務スペースを備え、それぞれの空間が効率的につながるようプランニングしました。ケーススタディハウスをイメージし、北国でありながらも開放的で現代的な外観としています。2月竣工予定。

## S-House



秋田県中央部に計画中の住宅です。1階は主にゲストハウスとして機能し、普段の生活の場は2階に集約しています。恵まれた敷地環境を効果的に生かすべく、住宅全体をコ型とし中庭を囲い込みました。シンプル系住宅とは異なり、装飾やディテールを織り交ぜた邸宅としています。

## G-House



仙台市宮城野区に計画中の住宅です。街中の住宅でありながら土間のある二間続きの和室を備えます。土間は住宅の大きな特徴であり、庭・LD・和室と一体になって機能します。小さいながらも吹抜けがあり、吹抜けに面した読書室は開放することで多目的に使用可能です。

## お知らせ



□秋田市で建築家展に参加します。

ASJ 秋田スタジオイベント  
第17回未来をのぞく住宅展

秋田アトリオン B1F・イベント広場  
秋田県秋田市中通 2-3-8  
1/28(土) 11:00~18:00 入場無料  
1/29(日) 10:00~18:00 入場無料

開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。詳しくはこちらをご覧ください。

## 雑記 初詣-2

初詣に関してはブログにも書いたのですが、翌日こちらにも初詣に行きました。社の都の天神様・榴岡天満宮。菅原道真公を祀る字間の神様です。受験シーズンを控える多くの人が訪れていました。



まだまだ震災の影響も残ってます。

## スタッフの日常・非日常 vol.44



あけましておめでとうございます。腰が痛いびつくりするくらい何もやる気が起こりません。多分そんなわけで正月は寝てばかりでした。雪かきが辛いんです。私たちにとっては日常ですが、雪が積もって景色まで一変してしまうのは改めて考えると結構特殊なことでは、と思います。雪景色は四季の大切な情景のひとつです。



にもかかわらず、雪への反応はネガティブなものが多いように感じます。住宅を設計する上で雪のことは制約以外の何者でもありません。とくに雪国では過剰なほどの配慮が必要です。もちろんそれも当然のことですが、雪ってもう少しポジティブに扱われてもいいんじゃないかなとも思います。雪が降り積もることによって出来ることたくさんありそうなのがです。

## 【今月のマテリアル



## 換気口カバー フラットタイプ

建築物には必ず換気扇があります。換気扇には外へ空気を出す穴があります。それを雨風から防御するためのカバーです。皆さんのお宅にも付いていると思います。調べてみると色々な形があり、どうせなら少しでもカッコいいものを、と思い図面で指定する製品がこちらです。また、外観上なるべく目立たないところにしたり、きれいに並べたりと、配置の仕方にも気を配っています。

## 編集後記

皆様、あけましておめでとうございます。どのようなお正月をお過ごしになられましたでしょうか？2012年もよろしくお願致します。

ニュースレターを作成するにあたり、前年同月のレターを参考にすることが多いです。1月のニュースレターは恒例のプロジェクト特集なのですが、去年も6件のプロジェクトを紹介させていただきました。プロジェクトごとにその後の変遷がありまして、秋頃に竣工した事例が3件、年末ギリギリに竣工した事例が1件、工事中の事例が2件という状況です。やはり建築は時間が掛かりますね。現在は、青森・岩手・宮城に現場があるのですが、建設を取り巻く環境も随分違うように感じます。秋田や青森は震災の影響はほとんどありませんが、岩手や宮城は今も震災の影響がとて大きく、労働力や資材の確保に苦労している状況です。私はこれからあまり焦らず、ひとつひとつできるだけ丁寧に取組んでいきたいと考えています。

最後までお読みいただきましてありがとうございました。それでは次回どうぞお楽しみに。



先月の自宅前。

自宅前道路の突当りで工事が始まりました。既存建物が解体されて何十年も塞がれていた視界が通ると見慣れた風景もとても新鮮に感じますね。

## Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談



ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所

TEL. 022-739-8931 018-831-4315

FAX. 022-739-8932 018-831-4316

HP. <http://www.issei-design.com/>

BLOG. <http://www.issei-design.com/blog/>

MAIL. [info@issei-design.com](mailto:info@issei-design.com)